

(35) さといも

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 軟腐病 <i>Pectobacterium carotovorum</i>	1. 無病種いもを用いる。 2. 耐病性品種（赤芽）を使う。 3. 連作を避けてイネ科作物と4～5年の輪作をする。 4. 過湿、過乾を避け、敷わらを厚くする。 5. 窒素質肥料の多用を避ける。 6. 種いもは切り離さず、そのまま貯蔵する。			
2 黒斑病 <i>Ceratocystis</i> sp.	1. 無病種いもを用いる。	植 付 前 (種いも消毒)	M3・1	ベンレートT水和剤20
3 汚斑病 <i>Cladosporium colocasiae</i>	1. 窒素質肥料の多用を避け、カリ質肥料を十分に施す。 2. 生育後半に肥切れのおそれがあれば追肥を行う。			
4 ネキリムシ類	1. 被害株周辺の土を掘って幼虫を捕殺する。 2. 作付け前に圃場内の除草を行う。	植 付 時	1B	ネキリエースK
5 コガネムシ類 (幼虫)	1. 有機物はできる限り完熟したものを使用し、未熟な有機物は使用しない。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. ラグビーMC粒剤はネグサレセンチュウにも登録がある。	植 付 前	1B 1B	ラグビーMC粒剤 ダイアジノンSLゾル
		生 育 期	1A	オンコル粒剤5
6 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。	発生初期から 8月下旬	1B 3A 3A 5 22A 22B 28 30 UN 3A・1B	エルサン粉剤2 アデイオン乳剤 トレボン乳剤 ディアナSC トルネードエースDF アクセルフロアブル プレバソフロアブル5 グレーシア乳剤 プレオフロアブル (混)ハクサップ水和剤
7 スズメガ類	幼虫を見つけ次第、捕殺する。	生 育 期	3A UN	アデイオン乳剤 プレオフロアブル
8 アブラムシ類	1. 圃場周辺の雑草の除去を行なう。 2. シルバーポリマルチを使用する。	植 付 前	4A	アクタラ粒剤5
		植 付 時	1A 4A	オンコル粒剤5 アドマイヤー1粒剤
		発 生 初 期	1B 4A	エルサン乳剤 アドマイヤー顆粒水和剤
9 ハダニ類	1. サトイモ出芽時までに畦畔防除を行う。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. コテツフロアブル、ピラニカEWはカンザワハダニに登録がある。	発 生 初 期	6 13 20D 21A 21A	コロマイト乳剤 コテツフロアブル マイトコーネフロアブル サンマイトフロアブル ピラニカEW
10 ネグサレセンチュウ	1. 連作を回避する。 2. 水田への転換可能などころでは、1～2年間水田化する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 土壌消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。 2. ガスタード微粒剤、バスアミド微粒剤は乾腐病にも登録がある。	土 壌 消 毒	8B 8B 8B 8F 8F	クロールピクリン ドロクロール クロールピクリン錠剤 ガスタード微粒剤 バスアミド微粒剤
		植 付 前	1B	ネマトリンエース粒剤
		植 付 前 (種いも消毒)	14	パダンSG水溶剤

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する